

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

2023～24 年度年度

国際ロータリー会長 Gordon・R・McInally



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 22 回例会 2024.2.26 (#2404) シリウス
例会ホスト・紹介係 保科会員
受付係 濱田会員 荘村会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 福田会員
卓話 「ロータリー財団奨学生が教授・大使・大臣になって
日本と世界の平和のために生きる」

参議院議員 猪口 邦子氏
紹介者 齊藤会員

前回の報告

第 21 回例会 2024.2.5 (#2403) シリウス
例会ホスト・紹介係 末竹会員
受付係 浅野会員 加賀会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 福田会員

卓話 職業奉仕月間に因んで
「私の職業奉仕」

金子修会員・須藤仁会員・若林英博会員
紹介者 保科会員

会長報告

- 1)先週のオープン例会には、外部の方に多数お越し頂きました。数名入会の意向のようですので嬉しいかぎりです。
- 2)1月の職業奉仕月間に因んで、「わたしの職業奉仕」について、金子、須藤、若林会員にお話ししていただきます。
- 3)詳細はまた送付いたしますが、3月25日の観桜会は京王プラザホテル 45F のオーロラにて開催いたします。皆様お集まりください。

幹事報告

- 1)今月は祝日が有りますので、次回例会は2月26日です。26日もシリウスにて開催です。
- 2)東京RCの熊平会員(クマヒラホールディングス)より、毎年、全国のロータリークラブに寄贈いただいている「抜萃のつづり」を配布しました。
- 3)杉山敏美(スギヤマサトミ)氏の公示をしました。おはかり下さい。
- 4)先週の卓話にそえて、美術よもやま話を、お送りいただきました。コピーを配布しましたのでご高覧下さい。
- 5)例会終了後に定例会理事会がございます。該当のかたはお残りください。

例会記録

会員総数 57名 出席会員数 25名
ゲスト 0名 ビジター 0名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

荒川会員:気候の変動が激しいです。
体調に気をつけましょう
藤谷会員:コロナ肺炎で入院。回復しました。
パートナー誕生日:福田会員(1日)
藤谷会員(25日)
結婚記念日:若林会員(4日)
荘村会員(6日)
福田会員(22日)
誕生日:須藤会員(1日)金子会員(18日)
齊藤会員(27日)

次回予告

第23回例会 2024.3.11(#2405)
会場:悠の間
例会ホスト・紹介係 山本会員
受付係 地引会員 藤谷会員
司会者 吉沢会員
ソングリーダー 新保会員

卓話「能の名曲を楽しむ～
『高砂』『羽衣』」

能楽シテ方 観世流 梅若 紀佳氏
紹介者 秋山会員

3月4日(月)は地区大会の振替の為
例会はございません



空飛ぶクルマ

エアモビリティ株式会社 代表取締役社長 & CEO 浅井 尚氏 (12/4 卓話 荒川会員紹介)



「空飛ぶクルマ」に乗れる未来はすぐそこまで来ています。経済産業省の運用概念によると、空飛ぶクルマは「電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、

利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段」と定義されます。航空法上は航空機であり、ドローンは含まれません。

垂直離着陸ができるものにはヘリコプターもありますが、空飛ぶクルマがなぜ注目されるかという点と電動化技術がブレークスルーになっているからです。電動モーターは風が吹いても安定するし、リアルタイムで細かな制御ができるので、機械モーターのヘリよりも安全性が大幅に担保されます。

空飛ぶクルマの世界市場は、2040年に130兆円、2050年に1200兆円になるといわれています。自動車産業は400兆円産業ですから、その3倍もの巨大市場が27年後に出現することになります。自動車が誕生したのは250年前であり、250年かけて400兆円市場になったわけですが、空飛ぶクルマは27年で1200兆円ですから、人類が見たこともないような産業革命が起こるといわれています。

一気にマーケットが立ち上がるので、スピードが重要です。空飛ぶクルマ産業に参入しようかどうか考えていると27年たってしまうので、まずは参入しないと駄目だと私は思っています。マーケットに入らないと情報が入ってこないのです。新規事業は椅子取りゲームであり、特にデジタル事業は最初に行った者がみんな取ってしまった後からひっくり返せないのです。経営者は早く判断した方がいいでしょう。

空飛ぶクルマの種類にはいろいろあって、低速だけでも狭小地で下ろしやすいタイプなど、利用目的で形は変わります。Joby Aviation社の機種は最高時速300kmが出るともいわれています。

ドローンは法律上150m以下の高度を飛ぶように定められています。一方、ヘリコプターは1000~2000mを飛びます。高ければ垂直落下を避けられるからです。空飛ぶクルマは150~1000mの間を飛ばそうとしていますが、エネルギーの観点からできるだけ低くして、200~300mを飛ぶのではないかとされています。都心などではなるべく混雑による衝突を避けるために、コリドー型といって環八や環七のような飛行空域を作って2層、3層にし、交通ルールを作りながら飛ばすことも考えられています。

移動時間は羽田・成田間の場合、鉄道が97分、タクシーは110分かかるところを空飛ぶクルマは17分です。実現すれば羽田・成田を一つの国際空港として使うことができ、大きなメリットが生まれるといわれています。そうすると不動産の価値も変わるでしょう。また、通勤時間の短縮も期待されます。

中国では既にイーハン社が何万回も飛ばしていて、来年からサービスが始まるといわれています。日本は遅れていますが、まずは万博で紹介しながら、最初は物流や災害・救急時に始まり、最終的には個人ユースへと広がっていくでしょう。

ただ、課題が大きく3点あります。一つ目が、通信技術やバッテリー重量などの技術的な課題です。二つ目が制度的な課題で、日米欧の3者がルールを合わせていますが、この共通ルールがどうなるかという問題が挙げられます。三つ目が社会受容性で、自分の頭上に飛ばさないでくれと言う人が大勢います。もちろん他にも、どこで買うのか、どこで修理・保管するのか、免許制度はどうなるのかといった課題があります。

弊社ではそうした問題を含めて、安心・安全な航空をサポートするインフラのプラットフォーマーとして、ナビゲーションシステムや自動離着陸システムなどさまざまな仕組みを開発しています。

空飛ぶクルマは世界で400社以上が開発していますが、日本は残念ながら現時点で2社のみです。自動車大国だった日本が空飛ぶクルマ大国になれるかという点と相当しんどいのですが、日本の部品は世界から非常に高評価なので、部品は7割方が日本製という構図ができれば日本の産業はまだまだしっかりしていくと思います。

クラブだより No.22

『多数ご参加下さい』

観桜会

3月25日(月) 18:30~

京王プラザホテル

スカイラウンジ「オーロラ」



東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	齊藤 栄太郎	FAX:03-3263-9122
幹事	藤田 進太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	山本 顕三	URL: www.koujimachi-rc.jp